

※本プレスリリースは、グリーンピース・インドネシア、オックスファム・フランス、Friends of the Earth International、および、FoE Japan が、COP22 会場（マラケシュ）での記者会見（2016 年 11 月 17 日 現地時間 16:00）にあたり、共同で発出したものです。

記者会見の様子は、こちらのページからご覧いただけます。

<http://unfccc.cloud.streamworld.de/webcast/stopping-coal-finance-for-indonesia-foei-and-allie>

共同プレスリリース@COP22

2016 年 11 月 17 日

インドネシアへの石炭関連融資のストップを！ 気候変動との闘いにとって不可欠

この 2 ヶ月の間にも、日本の国際協力銀行（JBIC）はインドネシアで汚染をもたらす 2 つの大型石炭火力発電所への融資を決定しようとしています。すなわち、西ジャワ州チレボン石炭火力発電所（2 号機）、および、中ジャワ州ジェパラ県のタンジュンジャティ B 石炭火力発電所（5、6 号機）ですが、これらの（新規）発電所の総容量は 3000 メガワットにもものぼります。

6 ヶ月前、JBIC は東南アジアで最大級となる中ジャワ州バタン石炭火力発電所への融資を決定したばかりです。同発電所については、すでに甚大な社会・環境被害を引き起こしており、また、今後、気候変動に多大なる影響を及ぼします。（<http://www.foejapan.org/aid/jbic02/batang/160606.html>）

フランスの民間銀行 Cr dit Agricole も、JBIC とともにチレボンとタンジュンジャティ B 石炭火力発電所への融資を検討中です。この動きは、Cr dit Agricole がつい最近「新規の石炭火力発電所への融資供与を停止する」という公約を発表したと矛盾します。Friends of the Earth France、Banktrack、Oxfam France を含む世界中の市民社会は、マラケシュで COP22 が開催される数週間前に気候変動問題に対する新たな公約を行なっにもかかわらず、これまでのように石炭関連融資を継続しようとしている Cr dit Agricole のダブル・スタンダードを批判しています。市民社会は、Cr dit Agricole がこれら 2 つの有害な石炭火力発電所への融資を行なうべきでないと主張しています。

チレボンでは、ほぼ毎日のように現地住民が抗議活動を行ない、既存の石炭火力発電所による深刻な被害を訴えています。（インドネシアの首都ジャカルタの）日本大使館前でも、抗議活動が行なわれており、また、先週には、（チレボンの）現地住民が JBIC ジャカルタ事務所です正式な「異議申立書」を提出しました。彼らは、既存のチレボン発電所の閉鎖とチレボン拡張発電所への融資の拒否を要求しています。（<http://www.foejapan.org/aid/jbic02/cirebon/161110.html>）

「インドネシアの現地住民はチレボンの発電所拡張計画やその他の日本が融資する石炭火力発電所への抗議を続けています。私たちは日本やフランス、また、他のどの国であっても、インドネシアでこうした破壊的な事業に融資してほしくありません。インドネシアのこうした発電所計画は、エネルギーへのアクセスがない貧困層のニーズを満たすものではなく、企業に貢献するものです。インドネシアは石炭とともにある将来という報いを受けるべきではないし、それは受容できません。インドネシアの将来を汚染をもたらす石炭で闇の時代に押しやらないでください。」とグリーンピース・インドネシアの Arif Fiyanto は述べました。

「国際協力銀行（JBIC）は日本政府 100% 出資の政府機関ですが、私たちの公的資金を使って、海外の破壊的な事業に融資を行なっています。今年もすでに、深刻な問題が指摘されているインドネシアのバタン石炭火力発電事業への融資を決定しました。こうした方針は受容できるものではありません。私たちはインドネシアであろうと他の国であろうと、こうした石炭火力発電所への融資を JBIC が停止するよう要求します。」と FoE Japan の深草亜悠美は述べました。

「フランスの銀行については、最近、石炭関連事業への融資を止めるという闘いのなかで勝利したわけですが、Cr dit Agricole は依然としてチレボン石炭火力およびタンジュンジャティ B 石炭火力の拡張

計画に融資を行なおうとしています。私たちが気候変動の災害に直面している現在、彼らのいかなる石炭関連事業への融資ももはや受け入れることはできません。私たちは両石炭火力発電所への融資をただちに止めるよう要求します。」とオックスファム・フランスの Armelle Le Comte は述べました。

「石炭やその他の汚染をもたらすエネルギーを止め、現場でこうした闘いを牽引しているコミュニティを支援することは、気候変動の危機を食い止めることに向けた大きな道筋を示しています。これらの事業は気候変動の被害をもたらすだけでなく、コミュニティや労働者にも被害をもたらし、土地収奪を引き起こし、また、大気や水を汚染します。同時に、電気へのアクセスのない人口が地球上で 12 億人にのぼるなか、私たちはエネルギー・アクセスの危機にも直面しています。私たちはそうした住民へのエネルギーを必要としているのであり、企業やエリート層へのものではありません。私たちは今、エネルギー面での抜本的な変化を必要としています。」と FoE インターナショナルの Dipti Bhatnagar は述べました。

本件に関する詳細なお問い合わせはこちら：

- Arif Fiyanto, Greenpeace Indonesia. E-mail: arif.fiyanto[at]greenpeace.org. Phone: +62 811 1805 373.
- Ayumi Fukakusa, Friends of the Earth Japan. E-mail: fukakusa[at]foejapan.org. Phone: +81 80 6917 0794.
- Armelle Le Comte, Oxfam France, E-mail: alecomte[at]oxfamfrance.org. Phone: 0033 6 85 13 89 58
- Dipti Bhatnagar, Friends of the Earth International, E-mail: [dipti\[at\]foei.org](mailto:dipti[at]foei.org). Phone: +212 6 95 54 61 07.

本件に関する一般的なお問い合わせはこちら：

メディア・コーディネーター： Leonie Beunen (Friends of the Earth International). Mail: [leonie\[at\]foei.org](mailto:leonie[at]foei.org).
Phone: 0031 6 51 00 56 30. Whatsapp/ sms: 0031 6 52 08 80 75